

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒730-0853
広島市中区堺町一丁目二九三〇三
TEL (082) 235-1305
FAX (082) 235-1305
e-mail
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

雨は残念、でも楽しく交流できました

「建交労フェスタin京都」に11人が参加

「仲間と集まるって、楽しい」をスローガンに、去る六月一〇〜一二日の三日間、「二〇二二建交労フェスタin京都」が開催されました。コロナの影響で一年延期開催となりました。北は北海道から南は沖縄まで約二五〇人が参加しました。広島県本部からは、ダンブ、広島、労職はじめ5支部から一人が参加しました。以下参加した何人かの感想を聞きました。

今回は広島で開催を!?

閉会集会で廣木さんが参加

者に呼びかけました



閉会集会で、角田委員長の横にいるのが広島支部の廣木昭代さん（赤い服の人、6月12日）

- ◆観光ガイドの人がとても詳しく説明され勉強になりました。「建交労」に連載をしている人だとわかるなるほどと思いました。
- ◆一日で二万歩以上歩きました。
- ◆ホテルが個室でいびきが気にならなかつたので良かったです。
- ◆疲れました。帰ってから三日間動けなかつたです。
- ◆京都の寺社の敷地はすごい広さだった。お寺の団地のようなところを案内された。
- ◆雨は残念でしたが、楽しく交流できました。実行委員は大変だったと思います。
- ◆松元ヒロさんの話芸は、久しぶりに聴きたえのあるものでした。

最終日の「閉会集会」では、参加した広島支部の廣木昭代（てるよ）さんは「もう少し長生きするので、次回のフェスタは広島で開催してください」と発言、他県の参加者からも「大勢で参加するので、ぜひ広島で開催してください。楽しみにしています」など声が掛けられました。

ある参加者は「松元ヒロさんの話芸は初めて聞きましたが、迫力ある熱演に圧倒された」と話していました。



「テレビに出ない芸人」で映画も公開された松元ヒロさんの風刺のきいた迫力ある話芸（6月10日）

三原支部が月例集会開催(6月度)

会開催(6月度)



三原支部の月例集会で仲間に報告する岡田文一委員長

建交労三原支部は六月二日の午前九時半から、駅前「シープラザ」4階会議室で、6月度の「月例集会」を開催、組合員全員が参加しました。

日本共産党の寺田元子市議員と建交労県本部から山田昭夫書記長が参加しました。

山田書記長からは「事業団・高齢者キャラバン」との関係で、「これまでの皆さんの市役所への要求運動で、要求は少しずつ前進しましたが、まだ道半ばです。三原の事業団で働く皆さんの賃金の引き上げと仕事の保障を実現するため来月キャラバン行動に取り組みます」と報告しました。三原支部岡田文一委員長より支部の機関紙にもとづき詳しい経過報告、当面の取り組みなどについて説明しました。

徒然草

◆参議院選挙が二日(水)から始まったが、正直盛り上がり欠けている。安倍・菅長期政権のもとで政治(権力)が腐敗を極め劣化、政治不信がまん延してきた。政権の狙いもそこにあつたのではと思わざるを得ない。「政治には期待できない」という無関心層も増えている◆しかし、アベ・スガの九年におよぶ政治により、働く者の賃金、生活はさらに悪化の一途をたどっている。いまこそ本気で自民・公明の岸田政権を転換させなければこの国の未来はない。アベノミクスによる「異常円安」が国民のくらしを直撃している現実を直視し、「物価高騰から国民生活まもる」政治に転換させなければならない◆またロシアのウクライナ侵略に乗じて「力には力を」「軍事費の2倍化」や「核の共有」「憲法9条改定」などの動きは近隣諸国からしても「日本が軍事力強化ならこちらもその方向に」と一層危険な方向に進むみかねない。「盛り上がり」に欠けている」などと言っている場合ではない◆故人で俳優の菅原文太氏の言われていたことを思い出した。氏は「国民を飢えさせてはならない、戦争をしてはならない、これが政治の責任」と直言していた。自分にも厳しく歩んで来られた人の言葉だけにけだし名言である◆政治家の責任は国民を戦争に引き込まないことである。「生活を守る政治」と「戦争をしない日本」を実現するため、投票に行き冷静な判断を(M)

キャラバン行動で、事業団で働く仲間の要求のさらなる前進を

日本政府は核禁条約を批准せよ!

第一回締約国会議に連帯する集会開かれる

核兵器禁止条約は昨年一月二二日に発効しましたが、六月二二日から二三日まで、第一回「締約国会議」がオーストリアのウィーンで開催されました。条約発効から一年後に開催の予定でしたが、コロナの影響で延期になっていました。会議には、条約締約国・地域とオブザーバー参加の国合わせて八〇カ国・地域以上が参加しました。(六月二〇日時点で締約国は六五カ国になりました)

日本はオブザーバー参加しなさい! の声

ドイツやオーストラリアもオブ参加

六月一八日(土)の午前一一時より、広島市中区「原爆ドーム」前広場で、「第一回締約国会議」に連帯する集会が開催され、八九人が参加しました。広島県被団協の佐久間邦久理事長や「カクワカ広島」の田中美穂共同代表らが、「唯一の戦争被爆国である日本は、いまだに条約を批准していませんが、いままらでも開会に間に合うので締約国会議にオブザーバー参加すべき」と強く訴えました。

ドイツやベルギーなどNATO(北大西洋条約機構)加盟国やアメリカと同盟国であるオーストラリアもオブザーバー参加しました。世論調査でも八割の市民は「日本は核兵器禁止条約に加盟すべきである」と回答しています。



締約国会議でも不参加の日本政府にたいして主催者からも「核保有国と非核保有国との橋渡しをするというなら、オブザーバー参加すべきだ」との声が出されていました。(写真は、原爆ドーム前で開催された「核兵器禁止条約第一回締約国会議ヒロシマ連帯集会」の参加者)

いの健中四国セミナー広島で開催

建交労広島からは3人が参加

労職支部大平書記長がじん肺・アスベスト分科会の進行役で奮闘しました

ト分科会の進行役で奮闘しました

六月四日(土)〜五日(日)の二日間、広島市内のロードビルで、「第13回働く者のいのちと健康を守る中四国ブロックセミナー」(実行委員会主催)が開催されました。現地参加者とオンライン参加者合わせて約百人が参加、広島での開催は9年ぶりになります。一日目は全体会で二つの記念講演①「生きる事・働くことを、過労死裁判を通じて考える」と②「かがえのない生命・150億年の旅」がありました。二日目は、5つの分科会が行われ、①じん肺・アスベストの分科会是中国四国の建交労の仲間が参加、広島労職支部の大平文俊書記長が司会進行を務め、愛媛県本部の大西書記長が「建設アスベスト給付金制度と今後の運動」のすすめ方について、問題提起し、それにもとづき参加者は議論を深めました。

広島県本部の山田書記長も議論に参加しました。

選挙区選挙

比例代表選挙



●投票はどうやるの?

参議院選挙では2回投票します。

- ① 選挙区選挙は候補者名を書いて投票します。
- ② 比例代表選挙は政党名または候補者名で投票します。

(期日前投票) 仕事や行楽などで選挙当日に投票できない場合、事前に投票することができます。「期日前投票所」に郵送された「入場整理券」を持参します。忘れても、手続きをして投票できます。

今後の組合日程など

- 六・二四 三七回・網の目平和行進
- 六・二五 ダンプ支部合同役員会
- 六・二五 広島県労連評議員会
- 七・二 市民集会
- 七・一〇 参議院選挙投票開票日
- 七・一一 高齢者キャラバン(島根)
- 七・一二 高齢者キャラバン(山口)
- 七・一三 高齢者キャラバン(広島)
- 七・一四 建交労第五回中央執行委員会(一五日)

- 八・一 建交労広島県本部委員会
- 八・六 広島原爆記念日(七七周年)
- 八・九 長崎原爆記念日(七七周年)
- 八・一九 平和のための広島「戦争展」(二二日県民文化センター地下)
- 八・二六 建交労第六回中央執行委員会(二八日・全国大会会場にて)

※今年の全国大会は、八月二七日(土)から二八日の二日間、新潟県越後湯沢市にて開催されます。代議員と特別代議員(それぞれ一名ずつ)を八月一日の「県本部委員会」で選出します。各支部から積極的に参加を募ってください。

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、ファクスや「メール」でお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。

ctg303.hiroshima@orange-plala.or.jp
fax 〇八二―三三三―三〇五二